

6月23日(月)

山口県社会福祉協議会の大河原様より「災害ボランティア講演会」と題して、5,6年生にお話をしていただきました。過去何年間に日本、または県内でどのような災害が起こったかということから始まり、ライフラインが絶たれたときの状況、ボランティアの実際などを児童の目線にあわせて、わかりやすく伝えてくださいました。

防災については、地域あげての取組により、興味関心、危機意識の高い子どもたちです。今の自分たちに何ができるかということを真剣に考える時間になりました。



2Lの水が入ったペットボトル1本でもこんなに重いのに、200Lの水を給水所から運ぶのは大変。ボランティアの方のお手伝いが必要です。

被災地では、壊れたものが散乱したり、汚泥がたまったりして、衛生面でも大変厳しく、小学生にはまだ現地ボランティアは難しいということや小学生でもできるボランティア活動例についての話に大きくうなずく子どもたちでした。